



生保内中学校報

令和2年
1月27日(月)

あらためまして、よろしく申し上げます。

ご挨拶が遅れましたが、冬休み明け14日から本校校長として赴任している嵯峨です。

赴任するにあたり「子どもたちが安心して学校生活を送れるように、そして教職員が持てる力を存分に発揮できるような職場環境作りに努め、保護者や地域の方々からの信頼回復に力を発揮するように」との激励の言葉を上司よりいただき、「自分に務まるだろうか、年度途中の赴任で果たして子どもたちや教職員、保護者や地域の方々を受け入れてもらえるだろうか」という不安を抱えながら赴任しましたが、ありがたいことに、明るく元気な子どもたち、子どもたちのことを第一に考えて共に取り組んでいる職員に囲まれ、抱いていた不安も徐々になくなってきていると感じています。

私自身の力不足は否めませんが、子どもたちや保護者の皆さまに「生保内中学校でよかった、生保内中学校っていい学校だ」と思ってもらえるように、職員はもちろん、保護者や地域の方々のお力添えをいただきながら、精一杯とりくんでいきたいと思っていますので、どうぞよろしく申し上げます。

心が育っています ~嬉しい電話をいただきました~

先週金曜日(24日)、面識のない方から1本の電話がありました。

電話の主は、北秋田市立鷹巣中学校の柴田校長先生でした。

柴田先生曰く「今日、東北スキー大会の応援に行ってきたのですが、帰り際にトイレを利用しようとした際に、2人の中学生から順番を譲ってもらいました。どこの中学校の生徒か聞いたら、『生保内中学校』だと。名前を聞かないでしまいました。混んでいた中でも笑顔で譲ってもらい、とても清々しい気持ちで学校に戻ってくることができました。いい子どもたちですね。どうしてもこの気持ちを伝えたくて電話させていただきました」とのことでした。私は、電話の最中から嬉しくて無意識のうちに笑顔になっていました。

当たり前のように、さりげなくこんな行動が出来る子どもたちが本校の生徒であったことがとても嬉しく「生保内中の子どもたちは心が育っているんだな～」と誇らしい気持ちでいっぱいでした。この2人は2年生のC.GさんとM.Kさん。当日はスキー大会の補助員として現地に出かけ、寒い中でも役割をしっかりとこなしていたそうです。

今回はたまたまこの2人の行為が注目されましたが、生保内中の生徒は、この2人だけではなく、きっと、どの生徒もこのような振る舞いが自然と出来る、そんな生徒なんだと私は思っています。こんな生徒のよさがいろいろな場面で見られることを楽しみにしています。

土日頑張りました(補助員として)

ご存じのように、先週末から東北スキー大会が行われ、前号で紹介された4人(S.Yさん、T.Kさん、T.Tさん、T.Yさん)が選手として、F.Kさんが前走者として参加しましたが、金曜日は2年生が、土・日は野球部、テニス部、バスケットボール部、バレー部、剣道部の子どもたちが補助員として参加していました。

3日間とも好天に恵まれたとはいえ、氷点下の中での活動でしたが、補助員の子どもたちは寒さにも負けず、記録掲示や放送、通過選手のピブス番号伝達、パンフレット販売などに笑顔で取り組んでいました。

大会関係者の方々から「生保内中の子どもたちよく頑張っている」と私にもたくさん声をかけていただき、ここでもまたとても誇らしい嬉しい気持ちになりました。



スタートの瞬間(S.Yさん)



無事前走を終え(F.Kさん)



記録掲示の前(T.Kさん)



記録用紙の受渡(バスケット部)